ながはま歌舞伎

NAGAHAMA KABUKI

発表会

2023 11/26日

全席自由

長浜文化芸術会館
〒526-0066　滋賀県長浜市大島町 37
TEL：0749-63-7400

―演目―

長浜子ども歌舞伎

一、絵本太功記
尼ケ崎閑居の場
決戦の場は天王山

長浜三役歌舞伎

二、お園 六三郎
浪華の春雨
やがて血染めの赤格子、父の行くのを待っておれ

午前の部　開演 10：30　[開場 10：00]

午後の部　開演 15：00　[開場 14：30]

ながはま歌舞伎の観劇について

長浜曳山まつりと曳山文化の保存伝承、情報発信と地域活性化を官民あげて取り組んでいる「長浜曳山まつり推進会議」への協賛2,000円につき「ながはま歌舞伎」の招待券1枚をお渡ししています。協賛についてのお問い合わせは曳山博物館までお電話、FAXまたはメールで御願いします。

TEL 0749-65-3300　FAX 0749-65-3440
MAIL museum@nagahama-hikiyama.or.jp

メールQRコード

長浜曳山まつり Nagahama Hikiyama Festival

NAGAHAMA SENGOKU FESTIVAL

長浜450年戦国フェスティバル関連事業　主　催：長浜曳山まつり推進会議

文化庁 本事業は令和5年度文化庁文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業）の補助を受けて実施しています。

長浜子ども歌舞伎

絵本太功記 尼ヶ崎閑居の場

あらすじ

武智光秀は、主君尾田春永の仕打ちに耐えかね、本能寺で春永を討ちます。光秀の母皐月は息子の非道を恥じ、ひとり尼ヶ崎の庵に引きこもります。一方、真柴久吉は旅僧に化け、この家に忍び込んでいました。

光秀の妻操は息子十次郎の許嫁初菊を伴って母の見舞いに訪ねて来ます。そこで十次郎は討ち死にする覚悟で出陣の許しを請います。孫の心を知った皐月は、心残りの無いよう初菊と祝言させ、十次郎は初菊に思いを残しながらも戦場へ向かいます。

久吉を追う光秀は、忍び込んだ旅僧を久吉と見抜き、障子越しに竹槍で突きますが、それは久吉ではなく母皐月でした。驚く光秀に対し、母は苦しみながらも主君を討った当然の報いと気丈に諭し、妻操も意見しますが、光秀は一向に聞き入れる様子はありません。

そこへ深手を負った十次郎が戦場から戻り、味方の敗北を告げ、やがて初菊に抱かれて静かに息を引き取ります。さすがの光秀も母と息子の相次ぐ落命に声をあげて激しく嘆き悲しみます。

しかし涙にくれる間もなく、久吉が加藤正清を伴い勇躍と姿を現します。襲い掛かろうとはやる光秀に、久吉は「決戦の場は天王山」と後日改めて戦う約束をして別れるのでした。

出演者

武智十兵衛	光秀	花澤 新 [小学五年生]
同一子十次郎	光義	吉田 櫂 [小学五年生]
同妻	操	小塩 公靖 [中学一年生]
同嫁	初菊	花澤 橙 [小学四年生]
同母	皐月(午前)	岡村 尚明 [小学五年生]
加藤虎之助	正清(午後)	
加藤虎之助	正清(午前)	川上 充輝 [小学四年生]
同母	皐月(午後)	
真柴筑前守	久吉	上山 寿輝 [小学五年生]
太夫		竹本 賀桐太夫
		竹本 龍豊太夫
三味線		豊澤 湊 祝
		豊澤 龍 三

長浜三役歌舞伎

お園 六三郎 浪華の春雨

あらすじ

ここは大阪大宝寺町。大工庄蔵の家に弟子の六三郎を訪ねて来た福島屋の遊女お園。六三郎は幼い時に父に捨てられ、庄蔵に引き取られ奉公しているのですが、お園と深い仲になっていて親方が戻ってきたらどうしようと心配でなりません。しばらく顔を見せなかった年下で気弱な六三郎を、お園は抓ったり叩いたりしてなじります。

そこへ、海賊の詮議と会所へ呼び出されていた親方庄蔵が戻ります。お園は納屋に隠れますが、様子を覚った親方は女を帰すように諭し奥へ入ります。お園が帰ろうとするところへ、今度は旅姿の赤格子九郎右衛門が現れ、お園はまた納屋へ。

九郎右衛門は六三郎に父親だと名乗り、十一年ぶりの再会を喜び合います。長崎で大儲けして贅沢が出来るからと六三郎を連れ帰ろうとする九郎右衛門でしたが、実は彼こそがお尋ね者の海賊。親方は人相書きを突き付けて追い返します。

驚く六三郎でしたが、九郎右衛門も観念し二人は悲しい別れを迎えます。外で待ち構えていた役人の縄を切って逃げる九郎右衛門。父の安否と、海賊の息子となじられるわが身の末を案じて絶望に沈む六三郎を一人に出来ず、お園も苦しみ二人はついに死を決心します。手を取り合い死に場所へと走るその後姿を見つめる九郎右衛門でしたが、自らの運命も悟り「やがて血染めの赤格子、父の行くのを待っておれ」と役人を振り払い二人の後を追うのでした。

出演者

赤格子九郎右衛門		岩井 小紫八
大工の親方	庄蔵	山根 加織
大工の弟子	六三郎	岩井 紫麻
同 丁稚	三吉	平田 富記子
町役人	世之助	堤 園子
福島屋の遊女	お園	山本 桂緒莉
太夫		竹本 展太夫
		竹本 甚太夫
三味線		豊澤 和賀
		豊澤 賀祝
振付・演出		岩井 小紫